

2026 年 10 月

会 員 各 位

食品品質保持技術研究会
会 長 鍋 谷 浩 志

講演会・情報交換会のご案内

拝啓 秋涼の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、首題の件に関しまして下記次第により、リアル及びライブ配信のハイブリッドにて開催する運びとなりました。
つきましては、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合せの上ご参加くださいますようお願いいたします。

ご参加いただける場合は、整理の都合上 10 月 30 日(金) 迄に[弊会ホームページ](#)にてお申込み下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1 日時 2026 年 11 月 16 日(月) 13 時 30 分～18 時 00 分

2 場所 主婦会館プラザエフ カトレア(7 階)
JR 四谷駅 麴町口 徒歩 1 分
丸の内線・南北線 四ツ谷駅 徒歩 2 分
〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 番地
Tel: 03-3265-8111
(当日以外の電話連絡はご遠慮ください。)

3 参加費用 **講演会** 会 員…無 料
非会員…2,000 円

* (一社) 日本食品包装協会様会員様の講演会参加費は 1,000 円となります。

情報交換会 会 員…2名様まで無料
(3名様以上ご出席のときは、追加1名様につき 1,000円
ご負担願います。当日会場にて頂戴いたします。)
非会員…2,000 円

4 申込み [食品品質保持技術研究会ホームページ](#)よりお申込み下さい。
(リアル参加、もしくは、Web 参加のいずれかをご選択ください。)
*受講票は発行しておりません。
リアル参加の場合、受付にて名刺のご提出をお願いいたします。

5 食品品質保持技術研究会講演会・情報交換会 (13:30～18:00)
◎ 会長挨拶 (13:30～13:35)

◎ 講演会 (13:35～16:50)

○知らない食べ物を拒む心理「フードネオフォビア」
―新規食品の受容・普及に向けて― (13:35～15:05)

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
食品研究部門 健康機能研究領域 感覚機能グループ
主任研究員 亀井 誠生 氏

「食べたことがないから、ちょっと嫌」「見慣れないから、なんとなく食べたくない」。こうした新しい食品や馴染みのない食品を避けようとする心理的特性は、「フードネオフォビア」と呼ばれています。本講演では、フードネオフォビアが日常の食品選択や新規食品の受容に及ぼす影響を紹介するとともに、日本人の特徴やその測定方法について解説します。さらに、世界の研究知見をもとに、新規食品の受容性を高めるための方策について考えます。

○休憩 (15:05～15:20)

○細胞培養技術を用いて製造する
食品のガイドライン策定の動向と安全性確保の考え方 (15:20～16:50)

消費者庁 食品衛生基準審査課 新開発保健対策室
係員 佐藤 健太 氏

細胞培養技術を用いて製造される食品について、現在消費者庁で検討が進められているガイドラインの概要を紹介する。あわせて、ガイドラインの策定に当たり、食品衛生基準審議会新開発食品調査部会において議論された安全性確保のための論点や事業者を求める情報に関する基本的な考え方について解説する。

◎ 簡易情報交換会（1時間のみの簡易開催となります） (17:00～18:00)

以 上

お問合せは
食品品質保持技術研究会事務局 阿部・森・鈴木まで
T E L : 03-3469-7131 E-mail : info@hinpoken.com